

プロセス5 成果を振り返る(確かめる)

項目	事業名	担当課	(1)令和5年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R5)
				①~⑦					
(1)「協働のまちづくり」事業の検証	行動計画の進行管理	市民協働推進課	・各担当部署における事業の実施 ・令和4年度実施状況調査の実施	-	B	効果 掲載事業の実施状況調査による振り返りを行うことで、協働への意識啓発及び取組の改善を考える機会につながる。 問題点 協働の効果は見えにくいいため指標の設定や評価が難しい。	事業達成率 65%	事業達成率 80%	事業達成率 90%
(2)評価・公表するガイドラインの確立	協働事業に係る評価・公表制度の検討	市民協働推進課	未実施	-	D	問題点 ・分かりやすい評価ができる工夫が必要 ・中間年に指導助言をいただく予定だったとちぎ協働アドバイザー事業の対象外となり活用できなくなった。	評価・公表制度の明確化 未実施	評価・公表制度の明確化 実施	評価・公表制度の明確化 未実施
(3)市民意向の把握	次期総合計画策定に向けた市民アンケート調査	企画政策課	未実施	-	D	理由 第3次総合計画策定作業の中で実施するため。	回答率 52.5%	回答率 55.0%	回答率 未実施
	協働に関するアンケート調査	市民協働推進課	・市民活動センター事業の実施の際、参加者に対し協働に対する需要を確認するためアンケート調査を実施した。 ・できるだけわかりやすい設問とし、結果を踏まえ次年度以降の事業内容に反映できるよう具体的な回答がしやすくした。	①②③④⑤ ⑥⑦	C	効果 参加者の回答率は9割を超えた。 問題点 アンケートを実施しない事業もあり、広く意見を集められなかった。	アンケート回答者数 291人	アンケート回答者数 500人	アンケート回答者数 153人